



大正だより

令和6年6月28日
横浜市立大正小学校

電話:045-851-0755 FAX:045-851-2093

ホームページ <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/taisho/>

雨の道

友と列なし

ひた進む

副校長 國司香織

保護者の皆様・地域の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。また、学援隊の皆様・PTA 校外委員の皆様・旗振りボランティアにご参加いただいている皆様には、日々、子どもたちの安全な登下校指導にご尽力いただいていますことに、心よりお礼申し上げます。

例年より随分遅い梅雨入りとなり、雨の季節がやってきました。湿気を伴った蒸し暑い日々がしばらく続くようです。梅雨が明ければ、子ども達が待ちに待った夏休みがやってきます。それまでの約1ヶ月間は、暑い中ではありますが、熱中症に十分気をつけながら、集中して学習に取り組んでほしいと思います。わずかな涼ですが、6月11日にプール開きが行われ、初日から水泳学習を楽しむ子ども達の楽しそうな声が職員室の窓を開けると聞こえてきています。

4月に着任して、3か月が経ちました。3つの棟に分かれた教室の配置を覚えること一つにも時間がかかりましたが、多くの皆様に支えていただき、少しずつ「チーム大正」の一員にさせていただいていると日々感じています。まだまだ

分からない部分も多いのですが、教えていただきながら相談させていただきながら努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

先日、5年生と1泊2日で三浦宿泊体験へ行ってきました。出発日はあいにくの雨で、学校を出るときからレインコートを着用しての出発となりました。左枠に収めた俳句は、その宿泊体験での様子を詠んだものです。

宿泊施設が、バスから降りた棟から夜寝る棟まで20分ほど歩いて移動する必要があったので、学級ごとに並んで移動をしました。雨が激しい時間帯であったことと朝から降り続いた雨により、山道の状態もぬかるんでいる所や川のように水たまりを避けようのない所もあって、とても厳しい状況でした。さらに大きくて重い荷物を背負い、歩かなければならず、日頃の生活ではほとんど経験することのない時間だったと思います。そんな中、子ども達は、ただ黙々と前の子について歩いていきました。一人であれば、やめたくなるような状況でも、一緒に取り組む人がいれば、何とかやり通すということの一場面だったなと思います。大人の私も、その一員として、何とか一緒に歩き通したという感じです。また、リュックサックの口が開いていて、ものを落とすつつ歩く子もいて、後ろの子が拾いながら声をかけながら歩いていくという様子も列をなし、連なって歩く状況ならではでした。

子ども達だけで過ごす中で、我慢したり助け合ったりする状況が自然と出てくる学校生活。今後もそのような場を見逃さず、寄り添い乗り越える支援ができる大正小学校であり続けたいと思っております。

皆様からのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。